

教職入門（教育実践研究 A－I）

(2 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象） > 課程共通科目

1 年、2 年、3 年、4 年 通年(前→後)

週間授業

遠藤 貴広 (endo@u-fukui.ac.jp、0776-27-8964 (2518)、総合研究棟 V（教育系 1 号館）6 階)

大西 将史 (mohnishi@u-fukui.ac.jp)

大橋 巖

加藤 正弘

岸 俊行 (t-kishi@u-fukui.ac.jp、0776-27-9943(2581)、教育系 3 号館 4 階)

嶋田 直美

橋本 久代

隼瀬 悠里 (y-hayase@u-fukui.ac.jp、教育 1 号館 6 階、火曜日 12 時～13 時)

牧田 秀昭

森田 史生

大和 真希子 (yamato@u-fukui.ac.jp、0776-27-8742 (2572)、教育系 3 号館、毎週水曜日 4 限目、実務経験：その他)

YASMINE SAMY GAMALELDIN MOSTAFA

■ナンバリングコード05-CFE-101 教育学部 学校教育課程 / 課程コース共通科目（課程）
〔1 年次レベル〕**■授業概要**

教育改革をめぐる提言と附属学校園の教育実践研究を手がかりに、新しい時代に求められる学びのあり方をチームとして協働で探究する。世界の教育改革、学習指導要領をめぐる議論、新しい時代の教育へのさまざまな研究を検討しつつ、自分たち自身でも求められている学びのあり方を探る。また、3 年生が教育実習を行う附属学校で進められている教育実践研究において、どのような授業・学習が展開されているか、3 年生の報告を受けて考える。異コース異学年のメンバーからなるチームで、それぞれの学年の役割を担いながら、協働探究の成果をレポートやポスター等にまとめる。

■到達目標

現代社会における教職の位置付けを踏まえた上で、教職の意義、教員の役割・職務内容を理解する。

■授業内容

前期オリエンテーション：チームで学ぶことの意味

チームの先輩の成果から学ぶ

公教育の課題に関わる新聞社説の検討

附属学校園における教育実践研究の検討

公教育の課題に関わる図書の検討

教員の職務とは

後期オリエンテーション

教育実習と介護等体験での経験を聴き合う

教職の意義及び教員の役割・職務内容に関する課題図書の検討

教職に就いた卒業生は大学で何をどのように学んできたか：前年度の教職学習個人誌の検討

教育の最新動向の検討

チームポスターの構想

チーム考察の検討

チームポスターの検討

協働探究の振り返りと公開クロスセッションの準備

協働探究の成果を広く伝える：公開クロスセッションでの発表

1 年間の振り返りと今後の展望を語る：個人最終報告書の作成

■準備学習（予習・復習）等

個人レポートの作成と改訂。

テーマに関する文献・資料の収集・検討。

チームポスターの作成とそのための打合せ。

■授業形式

【授業形式】

講義、演習

学年とコースの異なるチームで協働探究のテーマを決め、協働探究を重ねる。

そのために個人レポートを持ち寄ってチームで議論し、その議論を踏まえてレポートを改訂する。

チームでの協働探究の成果をチームポスターにまとめ、公開の場で発表する。

協働探究のプロセスを振り返る報告書を作成する。

■成績評価の方法

サイクルごとに提出される個人レポート、チームでの協働探究の成果をまとめたチームポスター、以上の取り組みを振り返って作成した個人報告書を基礎資料として成績評定を行う。評価規準については『福井大学教育学部 教員養成スタンダード』を参照のこと。

■教科書・参考書等

佐久間亜紀・佐伯胖編（2019）『現代の教師論』ミネルヴァ書房。

他、選択課題図書多数。協働探究の展開に即して授業中お知らせいたします。

■キーワード

Public Learning, Collaborative Inquiry, Generational Cycle, Authentic Assessment

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング科目

■授業形態

対面・オンライン併用授業ーリアルタイム・オンデマンド（資料配布）併用型

学年・コースをまたいだチームでの協働探究プロジェクトをオンラインで展開するため、Google Classroom を使用します。その一方で、学年別のアナウンスや成績評定に関わるレポートの提出は WebClass で行います。

学生ポータルと大学 Gmail 両方のメールを確認できる態勢を整えて下さい。

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに